



檀紙幼稚園

2023年9月8日
芸術士インターンシップ 植田泉希



まずはみどり組さんとエアドームづくりから。
「なにができるかな？」わくわくしながらがんばってテープを貼りました。もも組さんとき組さんも好きな色のペンを持って準備ができると...「わあ〜！」と膨らむエアドームにみんなの目がキラキラしていました。手を伸ばして高いところに描いたり、寝転がって下から描いてみたり、ドームの向きを変えてみたり。透明だったドームがみんなの絵でカラフルになりました。
最後はみどり組さんが中へ。ベッドやお風呂を描いてみんなのお家ができました。それから、みんなで一緒にごろごろすると、ゆっくり回転して進んでいました。次はどんなあそびかたができるかな？



インターンを通して、芸術士という人たちについて理解を深めることが出来ました。特に印象的だったのは、同じような活動であったとしても芸術士の方や子どもたちの年齢によって全く異なる活動内容になったことです。以前、芸術士の方の活動を見学させていただいたり事務局の方にお話を聞かせていただいたりする機会があり、芸術士派遣事業について多少の知識があると思っていました。しかしながら、運営のされ方や芸術士の方々の考えなど、実際に参加しなければ知ることができなかったことがたくさんあって、とても充実した3日間を過ごすことが出来ました。

私は芸術系の大学や専門学校に進学しているわけではなく、アートに関する知識がほとんどない状態の参加でした。美術大学の方々と一緒にインターンを行うということで、最初は不安もありました。ただ、今の自分ができる拙い表現の仕方であっても、みなさんがひとつの個性として向き合ってくださったため、とても楽しかったです。そして、このような上手か下手かという基準で判断しないことが子どもたちの自己肯定感を高めることに繋がるのだと身をもって感じる事が出来ました。

私自身は、綺麗な色を使って上手に絵を描くことが良いという環境の幼稚園で育ったため、芸術士と関わる機会がある今の子どもたちを羨ましいと感じる部分もあります。そのため、今後もっとたくさんの場所でこのような学びの機会が設けられるといいな、芸術士がもっと多くの人に広がればいいなと思いました。

インターンシップ生 植田 泉希

芸術は人間の心の内を表に表現することができます。遊びを通して身も心も発達していく子どもたちにとっては、芸術も遊びの一部と捉えるかもしれません。芸術士インターンシップでは、芸術と子どもの遊びに着目した子どもの主体性を引き出す方法があることを学びました。特に現場体験では芸術士として子どもたちと接することで、芸術士の視点や、子どもたちの芸術士を見る眼差しを自分の身で感じ取ることができました。

インターンシップの中で特に印象に残ったのは、芸術士の子どもたちと向き合う姿勢です。保育現場ではねらいや計画を持って子どもたちの発達を援助します。それに対して芸術士活動では、子どもたちの感情や遊びと共に、一緒に楽しむことを重視するという違いがありました。保育や教育の現場に居つつも、人と人としての対話、コミュニケーションを通し、お互いが共に歩む感覚を育む。このような感覚を育むきっかけとして、子どもの遊びや生活に混じって行う芸術士活動はとても意味があるのだと理解しました。

また、芸術士活動の講座の中で出てきた「変な大人が居る」という言葉は今でも頭に残っています。親でも先生でもない大人が自分達の園に何か面白いことを持ち運んでくる。あの「ヘンテコな大人」がくると、自分やお友達だけではなく、担任の先生も園長先生も楽しそう。あの大人が自分の近くにいると、なんだか自分らしくいられる……。1年間の中で積み重ねた芸術士と子どもたちの信頼関係。家庭や園でもないもう一つの居場所が出来上がることも魅力に感じました。

このインターンシップを通して、保育や教育の立場以外でも「ヘンテコな大人」としてでも、芸術の力で子どもたちをサポートできると実感しました。既存の形式にとらわれず、私と子どもたちと一緒に目の前のことを対話し、考える。そんな存在として将来子どもたちを援助したいと思いました。

インターンシップ生 大谷実花



まきまき、ぺたぺた

「包帯」を巻いたり「マッチョ」にしたりしながら、張り子に挑戦することもありました。

次はどこをまこうかな？どうやったらもっと太くすることができるかな？

たくさん考えて、手を動かして.....。

ようやく丸々した自分だけのお人形を見て、こどもたちもにっこり！



おともだちの紙の千切り方や
巻き方を見て、
影響されながらも、
自分でどうやるか工夫を凝らします。



次はどこを巻こうかな…？



千切る向きを変えたら、
綺麗にできるよ！



机に垂れた水が、
湿らすのにちょうどいいなあ。

想像を広げながら自分だけの
お人形を作っていくこともたち。



「筋肉マッチョになってきた！」
「この子は骨折したから、包帯を巻いてあげるんだ」

山登りしてたらな、
骨折してん！



痒いところは
ありませんか～？



牛乳みたい！



ヨーグルトかな？

